

すい臓がんの治療受付を開始します。  
～抗がん剤を併用したすい臓がんの陽子線治療～

日本においても患者数が増加しているすい臓がんに対し、他施設やX線での治療実績を参考にして、名古屋陽子線治療センターで抗がん剤を併用した陽子線治療を平成27年1月下旬から開始します。

すい臓がんは早期発見が難しく、  
進行が早い

手術ができない場合

化学療法 または 化学放射線療法

全国のすい臓がんの  
年間死亡者数  
平成25年:約3万人  
(20年間で倍増)

正常組織への影響を低く抑えることができる陽子線治療は従来のX線よりも高い線量での治療が可能です。  
今回、抗がん剤治療を組み合わせた治療を開始します。

20回の陽子線照射  
(約1か月)



経口の抗がん剤  
の内服



照射期間中の抗がん剤の処方西部医療センターで行います。  
(病院併設型の施設の特長を活かした治療)

- ※原則として通院治療となります。
- ※陽子線照射後も抗がん剤服用を続ける場合や陽子線単独治療となる場合もあります。
- ※陽子線治療料は288万3千円ですが、抗がん剤治療の費用は含まれません。(抗がん剤治療は健康保険が適用されます)

### 治療の適応

- ・胃や十二指腸への浸潤(がんが染み出るように広がっていること)がない
- ・歩行可能で、軽作業や座っての作業ができる程度の全身状態であること
- ・同部位への放射線治療の既往がないこと など

※個々の症例についての適応の判断は、医師の診察が必要となります。

